

授業概要

この講義は、まず国際関係学の基礎理論である現実主義と理想主義について勉強する。その後この講義は国際安全保障、EU、国際連合を中心に扱う。国際連合の役割、PKO、紛争を防ぐ地域統合の役割等について考えていく。また講義内容を深く理解するためのドキュメンタリー形式のビデオの視聴や新聞の国際欄の講読も行う。

授業計画

第1回	本講義の説明・国際関係論における現実主義と理想主義について
第2回	アメリカ紛争解決政策について（現実主義のケース）
第3回	ゲーム理論：囚人のジレンマについて（現実主義のケース）
第4回	地域統合について（EU 統合）（理想主義のケース）
第5回	EU 統合の問題点について（DVD 鑑賞あり）
第6回	国際連合の設立とその背景について
第7回	国際連合の主要機関について（DVD 鑑賞あり）
第8回	国連憲章について
第9回	日本の安全保障理事会の常任理事国入りについて
第10回	国連平和維持活動（PKO）の設立とその背景について
第11回	国連平和維持活動（PKO）の活動意義について（DVD 鑑賞あり）
第12回	東西冷戦後の民族紛争について
第13回	人間の安全保障と保護する責任について
第14回	DVD「ルワンダ難民を追って」を観て
第15回	試験対策
第16回	試験

到達目標

国際平和について考え、それに対して中心的な役割を果たす国際連合の取り国を理解する。近代の国際紛争を理解し、その解決のための複合的な役割を理解する。新聞の国際欄を深く理解する知識を養うことを到達目標とする。

履修上の注意

15回の講義が一つの流れになっているので毎回必ず出席すること。国際問題について興味のある学生を歓迎する。

予習・復習

復習を特に奨励する。授業用プリントや教科書のみならず、新聞の国際欄を読むことを奨励する。

評価方法

最終考査 80%
授業に対する姿勢 20%

テキスト

石塚勝美『国連 PKO と国際政治：理論と実践』